【様式①（共通）】

第 15 期（2023 年度）「ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト」助成金申請書

（西暦） 2024 年　1 月　9 日提出

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
理事長　鈴木　佑司　殿

学校名	[redacted]	※いずれかに☑をして下さい ■ユネスコスクール加盟校（ 2017 年加盟） □ユネスコスクール・キャンディデート		
活動実施期間	２０２４年　４月　１日　～　２０２５年　２月　２８日			
申請プロジェクト名（30 字以内）	未来へつなげよう！私たちのまちの宝 ～「つながり」を大切にしたふるさと（地域）学習を通して～			
助成申請する活動の計画概要（要約）	※次ページの「①助成申請する活動の具体的内容」について、対象学年、活動の狙い・活動によって期待される成果等がわかるように、100 字以内で要約して下さい。 小中連携・地域の「ひと・もの・こと」とのつながりを大切にした世界遺産学習・福祉学習・防災減災学習を柱としたふるさと学習をすすめ、郷土を愛する心を育み、自分事として自ら考え行動できる生徒の育成を目指す。			
活動分野	該当する分野に☑を入れてください（複数回答可） ☑環境　☑国際理解　☑平和・人権　☑世界遺産・地域遺産学習 ☑防災・減災教育　□気候変動　□その他（　　）			
SDGs の 17 の目標の中で目指すゴール	該当するゴールに☑を入れてください（複数回答可） ☑1. 貧困をなくそう　☑10. 人と国の不平等をなくそう ☑2. 飢餓をゼロに　☑11. 住み続けられるまちづくりを ☑3. すべての人に健康と福祉を　☑12. つくる責任つかう責任 ☑4. 質の高い教育をみんなに　□13. 気候変動に具体的な対策を ☑5. ジェンダー平等を実現しよう　□14. 海の豊かさを守ろう □6. 安全な水とトイレを世界に　□15. 陸の豊かさも守ろう ☑7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに　☑16. 平和と公正をすべての人に ☑8. 働きがいも経済成長も　☑17.パートナーシップで目標を達成しよう □9. 産業と技術革新の基盤をつくろう			
助成金申請金額	☑１０万円枠　□３０万円枠　←いずれかに☑を入れて下さい。 ⇒申請金額を記入してください　１０万　円（1 校あたり上限 10 万円／30 万円）			
学校住所	〒[redacted]			
学校長氏名	[redacted]　（公印）	学校 TEL	[redacted]	
		学校 FAX	[redacted]	
担当者名 ※必ず 2 名ご記入下さい	[redacted]	職名	教頭	電子メール [redacted]
	[redacted]		教諭	[redacted]

<table>
<tr><td>① 助成申請する活動の具体的な内容
・授業実践プラン
・学校の年間授業の中での位置づけ　等
（継続授業の場合は、これまでの資料を参考資料として添付して下さい。）</td><td colspan="2">400 字以内　※30 万枠の助成金申請は、別紙【様式②（2 年計画）】も記入
世界遺産学習を中心とした地域学習、福祉学習・防災・減災学習を柱とし総合的な学習の時間を中心に、教育活動全体を通して探究的な学びに取り組む。
本校区は、認知症の取組発祥のまち「認知症ＳＯＳ模擬遺訓練」を始めた町である。また、世界文化遺産「三池炭鉱宮原坑・専用鉄道敷跡」や、県指定の樹木等のまちの宝の学習を通して、自分たちの住むまちづくりについて「つながり・関り」を大切にし、グローバルな視野で自ら考え行動できる社会の担い手育成を目指す。
1 年：[redacted]学校との交流
認知症学習：絵本教室・認知症ＳＯＳ模擬訓練参加
世界遺産学習を中心とした地域学習
2 年：世界遺産学習
防災・減災学習
3 年：いのちの授業
福祉学習：高齢者宅訪問・「高齢者へ絵手紙を届けよう」
ユネスコ・ESD/SDGs クラブと近隣の幼・小・高校・地域・関係機関と協働で世界遺産「宮原坑」の保全活動「フラワーチェーンプロジェクト」「ペットボトル回収」継続して取組む。</td></tr>
<tr><td>② 対象学年と人数</td><td colspan="2">１・２・３学年　　２８６人</td></tr>
<tr><td>③ 上記①の活動のねらい（ESD の視点に留意してお書き下さい。）</td><td colspan="2">保護者・地域・幼稚園・小学校・高校など多様な人々との関りとつながりの中で学ぶことで、コミュニケーション力・他者と協力する態度、つながりを尊重する態度等を培い、自分の人生や社会に目を向け、郷土を愛する心を育み自分たちの住むまちづくりについて考え行動する持続可能な社会の担い手育成を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">④ 期待される変容
※持続可能な社会づくりに必要な価値観や能力･態度の習得など､上記①の活動を通して､期待される変容について､当てはまる項目を全て記入して下さい。</td><td>学校</td><td>ESD の取組をとおして、地域・保護者等多様なステークホルダとの関り・つながりを広げ「社会に開かれた学校」を実現することで、信頼関係を築き、持続可能な社会の担い手育成に取り組んでいく。</td></tr>
<tr><td>教員</td><td>多様な人々との関り・つながりを通して、教師自身の資質・能力の向上、ESD の視点での積極的な授業実践を期待する。また、生徒たちとの協働の学びのなかで、生徒一人一人の新たな強みを発見することができる。</td></tr>
<tr><td>児童生徒</td><td>様々なつながりを通して、自分たちの住むまちのよさ「宝」に気づき、それらを未来につないでいこうと、自分たちの住むまちづくりについて自分たちに何ができるか､何をすべきかを考え行動する。（世界文化遺産「宮原坑」でのウェルカムボードの設置。リーフレットや新聞等を作成し広く発信することも目指す。）</td></tr>
<tr><td>その他
(保護者・地域など)</td><td>子どもたちを中心に、学校・保護者・地域・関係諸機関がつながり関りを深めることによって、誰もが安心・安全で住みやすいまちづくりに向かって協働的に取り組んでいく。</td></tr>
<tr><td>⑤ 活動実践において、地域団体（NGO，自治会等）の協力があ</td><td colspan="2">大牟田市役所　大牟田市社会福祉協議会　はやめ人情ネットワーク　大牟田市シルバー人材センター　大牟田地方ユネスコ協会　大牟田地区私学幼稚園協会　駅馬まちづくり協議会　天の原まちづくり協議会　　玉川校区</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>る場合は団体名</td><td colspan="2">ESD/SDG s 活動委員会　勝立地区公民館　駛馬地区公民館　JICA 九州
大牟田商工会議所　大牟田青年会議所　大牟田経済倶楽部　大牟田ロータリークラブ　世界文化遺産「宮原坑」ボランティアガイド　大牟田市石炭産業科学館　石工の里櫟野歴史保存会　イオンモール大牟田店　FM たんと
他</td></tr>
<tr><td>⑥　学習発表会 開催予定</td><td colspan="2">☐無　☑有　←いずれかに☑を入れて下さい
「有」を選択した場合は、下記項目も回答してください。
◆開催時期：　2025 年　２月頃予定
◆開催方法：☐オンライン　☑対面　☐未定　※１つ選択
◆対　象：☐自校の児童生徒　☐他校の児童生徒　☑保護者　☑地域住民
☑その他（学習にご協力いただいた関係機関・企業等）　※複数回答可
【全員回答】当連盟主催の助成校発表会も開催予定です。参加を希望されますか？
（オンライン／11～12 月頃開催予定）
☑スケジュールがあえば希望　☐希望しない　←いずれかに☑を入れて下さい</td></tr>
<tr><td>⑦　過去申請・助成実績</td><td colspan="2">それぞれ、該当するものに☑を入れてください。年度は募集年度です。
◆14 期(2022 年度)：☑助成を受けた　☐応募したが不採択　☐応募なし
◆13 期(2021 年度)：☑助成を受けた　☐応募したが不採択　☐応募なし
◆12 期(2020 年度)：☑助成を受けた　☐応募したが不採択　☐応募なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑧　過去の助成活動による変容
※過去 3 年間（第 12 期～14 期）に助成を受けたことがある学校のみ、助成活動による実際の変容について、記入してください。
字数制限なし</td><td>学校</td><td>カリキュラムマネジメントを通して、ESD の重要性を再認識し、計画的・組織的に取り組むことができるようになった。また、学校の特色を生かした教育活動を積極的に行うことができるようになった。</td></tr>
<tr><td>教員</td><td>学校の特色を生かした教育活動としてのカリキュラムマネジメントが構築され教職員が変わっても、学習内容を工夫しつつ柱となる学習テーマに取り組むことができた。今年度の世界遺産学習・地域学習においては、ゲストティーチャーを招いた教職員の学習会やフィールドワークを行い、学習の取組を組織的・計画的に進めていっている。</td></tr>
<tr><td>児童生徒</td><td>自分たちの地域のよさに気づき、自分たちで何ができるか考え行動できるようになった。特に地域の行事や小中連携の取組に積極的に参加し運営等にもかかわって活動する姿が増えた。</td></tr>
<tr><td>その他
(保護者・地域など)</td><td>地域の行事等に積極的に中学生の参加を促していただき、運営等の中心としても活躍できる機会を多くつくっていただけるようになった。また、学校の授業や ESD の取組に積極的に参加協力していただく方が増え、地域一体となって子どもたちの教育を応援いただいた。</td></tr>
</table>

予算計画

◆助成金の使途が、申請する活動とどのように関わっているか分かるように、具体的に明記してください。
（次頁の記入例をご参照ください）

◆予算根拠がわかるよう、見積もりを添付してください。
見積もりの入手が難しい場合は、カタログのコピーなど金額のわかるものをご提出下さい。

＜支出見込＞

内訳	使途内容	積算（単価×人数×回数）	金額	SDGs アシストプロジェクト助成金使用額
＜諸謝金＞	いのちの授業 福祉学習ＧＴ謝金 世界遺産学習ＧＴ謝金	20,000 円× 1名× 1回 5,000 円× 1名× 2回 5,000 円× 1名× 2回	20,000 10,000 10,000	40,000
＜旅費交通費＞		円× 名× 回		
＜通信費＞		円× 名× 回		
＜印刷製本費＞		円× 名× 回		
＜消耗品費＞	世界遺産学習・「フラワーチェーンプロジェクト」使用アクリル絵の具	1089 円× 名× 14 色	15,246	1,084
＜雑費＞	ペットボトル回収ボックス 学習記録データ保存ＵＳＢ	11,000 円× 名× 4 回 14,916 円× 名× 1 回	44,000 14,916	58,916
＜その他＞		円× 名× 回		
合　計			(a) 114,162	(b) 100,000

＜収入見込＞　　単位：円

内訳	金額
ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト助成金	(b) 100,000
その他	14,162
合　計	(a) 114,162

※その他の助成金や補助金等がある場合には、＜収入見込＞の「その他」の欄へご記入下さい。
※支出見込みと収入見込みの(a)と(ｂ)は同じ金額になるようにご記入下さい。